

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 3 区分

【発行日】平成31年3月28日 (2019.3.28)

【公開番号】特開2017-142753(P2017-142753A)

【公開日】平成29年8月17日 (2017.8.17)

【年通号数】公開・登録公報2017-031

【出願番号】特願2016-25191(P2016-25191)

【国際特許分類】

G 0 6 F 16/00 (2019.01)

G 0 6 F 16/50 (2019.01)

H 0 4 N 5/91 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 17/30 2 2 0 B

G 0 6 F 17/30 1 7 0 B

G 0 6 F 17/30 3 5 0 C

G 0 6 F 17/30 3 2 0 Z

H 0 4 N 5/91 Z

H 0 4 N 5/91 J

【手続補正書】

【提出日】平成31年2月12日 (2019.2.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

撮影設定のパラメータを変更することによりブラケット撮影技術を使って連続して撮影された複数の画像を読み出す手段と、

読み出された前記複数の画像のそれぞれから被写体を検出する手段と、

検出された前記被写体に対応するタグを判定する手段と、

各画像の前記タグに対応する前記被写体の領域に対して、前記撮影設定の種類と対応する画質に基づく値を算出する手段と、

読み出された前記複数の画像において前記タグに対応する前記被写体が発見された画像のうちから、各画像で算出された前記値に基づいて少なくとも 1 つを選択する手段と、

選択された前記画像に前記タグを関連付けて記憶する手段を備えたことを特徴とする情報処理装置。

【請求項 2】

読み出された前記複数の画像は、焦点距離のパラメータを変更することによりフォーカスブラケット撮影技術を使って連続して撮影された画像群であり、

前記値は、前記被写体の領域のぼけの程度に基づいて算出される、ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 3】

読み出された前記複数の画像は、露出のパラメータを変更することにより露出ブラケット撮影技術を使って連続して撮影された画像群であり、

前記値は、前記被写体の領域の輝度値分布に基づいて算出される、ことを特徴とする請求項 1 に記載の情報処理装置。

【請求項 4】

読み出された前記複数の画像は、ISO感度のパラメータを変更することによりISO感度ブラケット撮影技術を使って連続して撮影された画像群であり、

前記値は、前記被写体の領域のノイズ量に基づいて算出される、  
ことを特徴とする請求項1に記載の情報処理装置。

【請求項5】

読み出された前記複数の画像において前記タグに対応する前記被写体が検出された画像のうちから、前記値が最も高い画像、または前記値が閾値を超えている画像が、選択される、

ことを特徴とする請求項1乃至4のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項6】

検出された前記被写体に対応する前記タグは、前記被写体の領域の特徴量と前記タグに関連付けられた特徴量にしたがって判定される、

ことを特徴とする請求項1乃至5のいずれか1項に記載の情報処理装置。

【請求項7】

撮影設定のパラメータを変更することによりブラケット撮影技術を使って連続して撮影された複数の画像を読み出すステップと、

読み出された前記複数の画像のそれぞれから被写体を検出するステップと、

検出された前記被写体に対応するタグを判定するステップと、

各画像の前記タグに対応する前記被写体の領域に対して、前記撮影設定の種類と対応する画質に基づく値を算出するステップと、

読み出された前記複数の画像において前記タグに対応する前記被写体が検出された画像のうちから、各画像で算出された前記値に基づいて少なくとも1つを選択するステップと、

選択された前記画像に前記タグを関連付けて記憶するステップ、

を備えることを特徴とする情報処理装置の制御方法。

【請求項8】

コンピュータに、

撮影設定のパラメータを変更することによりブラケット撮影技術を使って連続して撮影された複数の画像を読み出し、

読み出された前記複数の画像のそれぞれから被写体を検出し、

検出された前記被写体に対応するタグを判定し、

各画像の前記タグに対応する前記被写体の領域に対して、前記撮影設定の種類と対応する画質に基づく値を算出し、

読み出された前記複数の画像において前記タグに対応する前記被写体が検出された画像のうちから、各画像で算出された前記値に基づいて少なくとも1つを選択し、

選択された前記画像に前記タグを関連付けて記憶する、

処理を実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記憶媒体。

【請求項9】

コンピュータを請求項1乃至6のいずれか一項に記載の情報処理装置の各手段として機能させるプログラム。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明の第1の態様に係る情報処理装置は、撮影設定のパラメータを変更することによりブラケット撮影技術を使って連続して撮影された複数の画像を読み出す手段と、読み出された前記複数の画像のそれぞれから被写体を検出する手段と、検出された前記被写体に対応するタグを判定する手段と、各画像の前記タグに対応する前記被写体の領域に対して

、前記撮影設定の種類と対応する画質に基づく値を算出する手段と、読み出された前記複数の画像において前記タグに対応する前記被写体が検出された画像のうちから、各画像で算出された前記値に基づいて少なくとも1つを選択する手段と、選択された前記画像に前記タグを関連付けて記憶する手段を備える。

本発明の第2の態様に係る情報処理装置の制御方法は、撮影設定のパラメータを変更することによりブラケット撮影技術を使って連続して撮影された複数の画像を読み出すステップと、読み出された前記複数の画像のそれぞれから被写体を検出するステップと、検出された前記被写体に対応するタグを判定するステップと、各画像の前記タグに対応する前記被写体の領域に対して、前記撮影設定の種類と対応する画質に基づく値を算出するステップと、読み出された前記複数の画像において前記タグに対応する前記被写体が検出された画像のうちから、各画像で算出された前記値に基づいて少なくとも1つを選択するステップと、選択された前記画像に前記タグを関連付けて記憶するステップを備える。